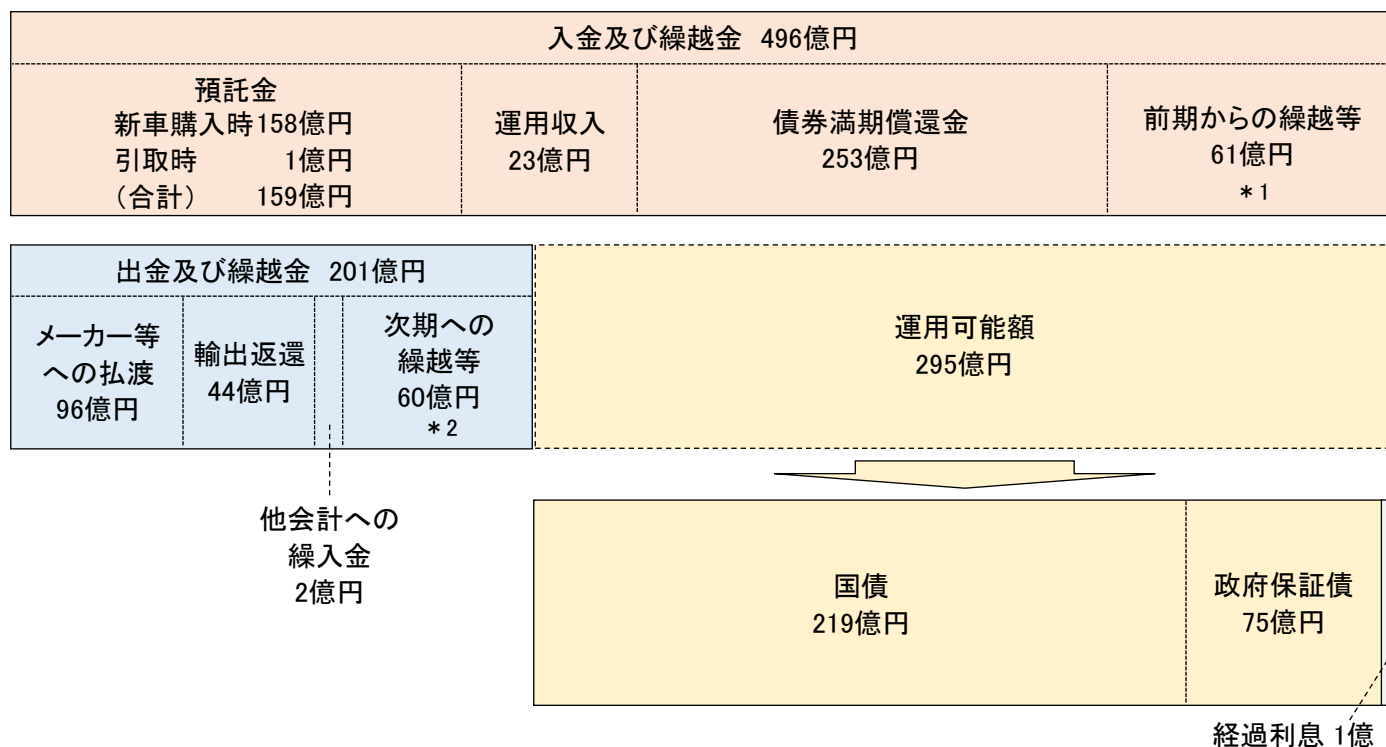


2017年度第1四半期(2017年4月～2017年6月)再資源化預託金等の運用の実績

1. 2017年度第1四半期の入出金及び運用可能額



- *1 前期からの繰越等61億円のうち、債券未取得額31億円は、2017年度第1四半期に債券を購入するために繰り越した額等である。
- *2 次期への繰越等60億円のうち、債券未取得額30億円は、2017年度第2四半期に債券を購入するために繰り越した額等である。
- また、突発的な預託金の出金の増加に対応するため、輸出返還金額(15億円/月)の2ヶ月分を流動性確保額とした。

2. 2017年度第1四半期の再資源化預託金等債券運用実績

自動車の平均使用年数(約15年)を考慮した各年限の必要残高に応じたラダー型資産構成を完成させるため、295億円のうち294億円を年限10年の債券取得に充てた。

	2017年度				合計
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
運用可能額	295				295
債券取得額	294				294
国債	219				219
政府保証債	75				75
次期繰越額等	1				

3. 2017年度第1四半期末におけるラダー型資産構成実績

2016年度から、自動車の平均使用年数を考慮して、各年限の必要残高を額面600億円程度とするラダー型運用に変更した。2017年度第1四半期末時点における当該ラダー型資産構成は、構築の途上にある。

年限 (年度末基準)	1未満	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	合計
償還年度	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26	'27	'28	'29	'30	'31	'32	'33	'34	
額面残高 (億円)	640	892	891	890	890	891	895	884	783	600	337	122	9	150	-	100	-	14	8,988

各年限の取得額の上限を600億円程度とするラダー型資産構成の構築を目指す